

観音原自治会の買い物支援の活動状況と今後の展開について

観音原自治会（285世帯）は高齢化が進んでおり、団地内にはスーパーマーケット等の店舗がないので、団地外に食料品・日用品を購入しに行く必要があります。

そこで、高齢化世帯の買い物を支援できることはないかと検討した結果、パソコンによる買い物の発注作業とFAX機能のついたプリンターで買い物を支援する取組を計画・実施してきました。

1 実施に至るまでの準備について

- (1) パソコンとプリンターを購入（平成27年12月購入）
- (2) パソコンのW i F i 利用によるインターネット回線の利用
- (3) プリンターのFAX機能を活用するために電話回線を接続
- (4) 買い物支援の内容・活用可能な方法を調査
- (5) 観音原自治会内での買い物支援実施状況のアンケートによる実態調査
- (6) パソコンでの買い物の仕方・発注方法のデモンストレーション
- (7) 近くの「生協店舗」では、FAXや電話注文で午前中に依頼すると夕方には配達していただけることが判明

2 現在の活動内容について

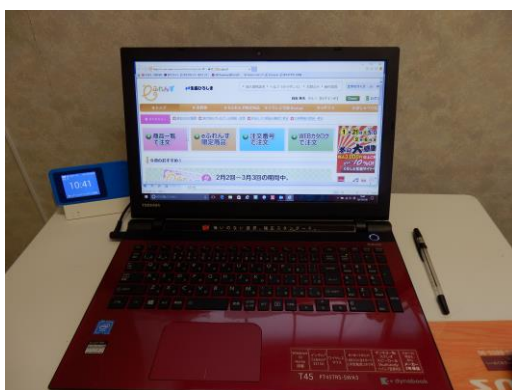
パソコンとプリンターを誰でも使用可能な観音原自治会内の集会所に設置して、買い物支援要望者にパソコンやプリンターのFAX機能を利用いただき、買い物の発注を可能にするシステムにより実施しています。

- (1) 「生協ひろしま e ふれんず」に会員登録した観音原自治会員が、集会所のパソコンから商品を発注するシステムを利用しています。



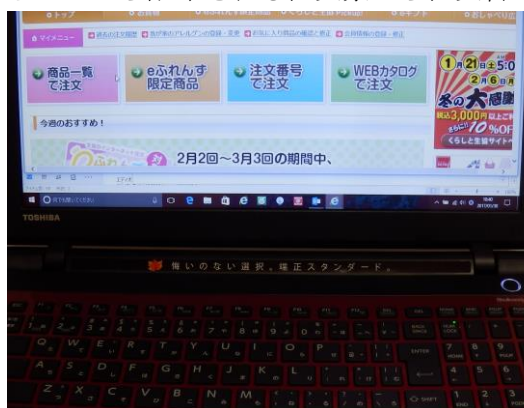
集会所にパソコンとプリンターを設置しました。
生協ひろしまのパソコン買い物のページを開いています。

(2) パソコンを利用して生協ひろしまに買い物支援を発注する準備の画面です。



平成28年5月16日から月に2～3回、「生協ひろしま－eふれんず」のパソコン画面から食料品をメインに商品注文しています。

(3) 毎週、生協ひろしまから配布される注文票から注文番号を選択して発注しています。



現在は注文番号で注文していますが、商品を見ながらの注文も可能です。

(4) 実際の注文票とパソコンで発注した結果を照合し、発注ミスを防止しています。

(5) 集会所での商品の発注実施の記録をノートに記録しています。

買い物の発注作業は、現在、会長と役員のみで行っています。

(6) パソコン活用による買い物支援の課題・方向性

- ① 家庭のパソコンを使用する人も増え、集会所に設置したパソコンを利用するニーズが少なくなっています。
- ② 生協ひろしまに対して、観音原自治会から新しい発注方法を提案したが、現状のシステムからの変更・修正は不可との回答があり、パソコン活用の発注の自由度が限られて現在のシステムのままで進めざるを得なくなりました。
- ③ 自治会内にはパソコンのニーズ等が色々あるので、今後もパソコンの活用方法を検討していきたいと考えています。

※ 自治会内の資料作成や資料のメールによる発信・受信が可能になりました。また、その資料も簡単にコピーでき、役員会議資料の作成などに利用しています。